【様式１－１】

舟橋村橋梁長寿命化修繕計画

令和3年3月
令和5年3月（改訂）

舟橋村　生活環境課

１．計画全体の方針
１-1．長寿命化修繕計画の対象橋梁

	橋梁数	合計
全管理橋梁数	13	13
うち計画の対象橋梁数	13	13
うちこれまでの計画策定橋梁数	13	13

長寿命化修繕計画の対象：

・2m以上15m未満及び15m以上の全橋梁を対象とする．

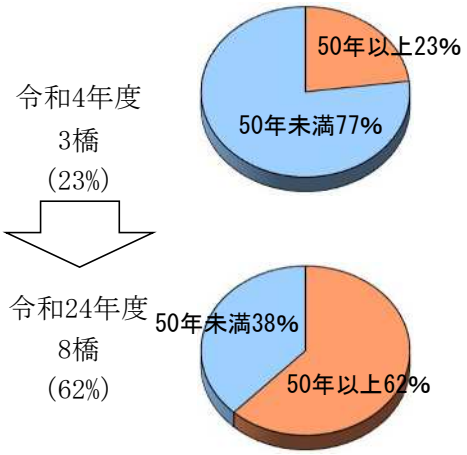
１-2．老朽化対策における基本方針

１）背景

舟橋村が管理する橋梁は，令和4年度現在で13橋架設されている．

このうち，建設後50年を経過する橋梁は，全体の23%を占めており，20年後の令和24年には，62%程度に増加する．

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して，従来の対症療法型の維持管理を続けた場合，橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される．



２）目的

このような背景から，より計画的な橋梁の維持管理を行い，限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる．

コスト縮減のためには，従来の対症療法型から，“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り，橋梁の寿命を延ばす必要がある．

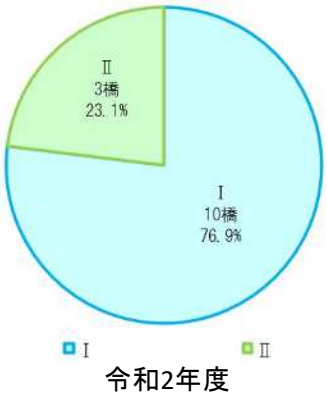
そこで舟橋村では，将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために，橋梁長寿命化修繕計画を策定する．

３）健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

①健全度の把握の基本的な方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき，橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する．

現状，健全性の判定区分の割合はⅠが全体の76.9%，Ⅱが全体の23.1%を占めている．



令和2年度

②日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う．

４）対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

舟橋村が管理する橋梁の中で，架設後30年以上経過した橋梁は全体の約62%を占めているため，近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される．したがって，計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り，橋梁の寿命を100 年間とすることを目標とし，修繕及び架替えに要するコストを縮減する．

１－３．新技術等の活用方針

1)新技術等の活用に関する基本的な方針
　令和12年度までに，管理する13橋全てについて，修繕や点検等に係る新技術等の活用の検討を行うとともに，2橋(全橋梁数の約15%)の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目標とする．

１－４．集約化・撤去に関する具体的な方針

1)集約化・撤去に関する基本的な方針
　集約化・撤去対象の検討を行った結果，一部施設については添架管が設置されており，関係機関との調整が必要なため，早急に集約化・撤去を行うことは困難である．また，管理する橋梁は近隣住民の生活道路として利用されており，集約化・撤去を行うことで利用者の生活に影響を与えるため，集約化・撤去を行うことは困難である．
　周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて，再度検討を行う．

2)費用縮減
　令和7年度までに，管理する13橋のうちASRの疑いがある2橋に対しては新技術等を活用した点検を実施することで，点検費用を約1.4万円程度(約5.0%)縮減することを目標とする．

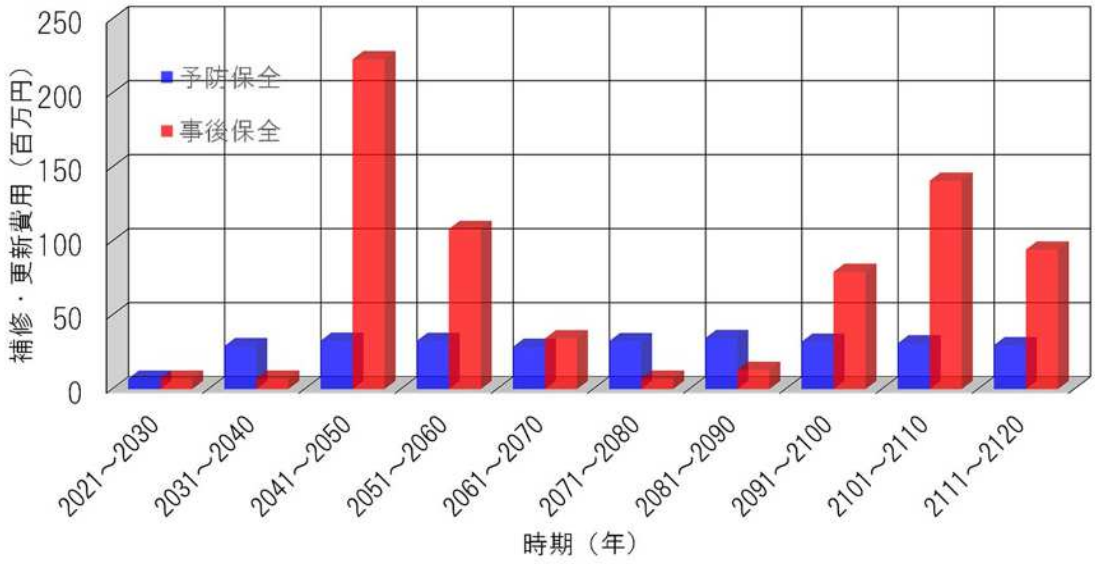
２．個別の構造物ごとの事項

様式１－２による

２－２．長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する13橋について，今後100年間の事業費を比較すると，従来の対症療法型が7.1億円に対し，長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が2.9億円となり，コスト縮減効果は4.2億円となる．

また，損傷に起因する通行制限等が減少し，道路の安全性・信頼性が確保される．



２－３．計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

１）計画策定担当部署

舟橋村　生活環境課　tel：076-464-1121

２）意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

富山県立大学　工学部　環境工学科　　伊藤　始　教授

【様式１－２】

２－１．対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：◀―▶ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	路線名	橋長(m)	幅員(m)	構造形式	架設年度	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	健全性	対策の内容・時期									
										R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
海老江橋	舟橋海老江線	12.5	4.4	RC	1963	59	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
仏生寺橋	役場仏生寺線	18.7	7.2	RC	1999	23	R2	R7	Ⅱ					点検					点検
竹鼻浦田線橋	竹鼻浦田線	10.5	6.5	RC	1975	47	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
舟橋線橋	舟橋線	2.5	4.5	RC	1952	70	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
舟橋寺田線橋	舟橋寺田線	2.0	18.7	BOX	1975	47	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
新堀用水橋	上国重線	2.8	4.4	RC	1978	44	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
海老江線橋	海老江線	9.5	3.4	RC	1963	59	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
城東橋	舟橋駅寺田線	18.5	11.2	RC	2000	22	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
稲荷古海老江線橋	稲荷古海老江線	13.5	6.7	RC	1977	45	R2	R7	Ⅱ					点検					点検
東芦原西部団地2号線橋	東芦原西部団地2号	2.3	9.4	BOX	2006	16	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
東芦原西部団地5号線橋	東芦原西部団地5号	2.3	9.4	BOX	2005	17	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
塚越橋	村道東芦原五郎丸線	9.7	7.7	RC	1978	44	R2	R7	Ⅱ					点検					点検
芦原団地西部線橋	芦原団地西部線	2.65	9.0	BOX	2010	12	R2	R7	Ⅰ					点検					点検
合　計　（千円）														3,500					3,500
対策に係る全体概算工事費　（千円）										7,000									